

主体的に学ぶ「修成っ子」の育成



本校は、本年度で創立150年を迎える伝統校であり、地域にお住まいの多くの方々が本校出身者という、地域とともにある学校です。

上記画像は、旧木造校舎玄関に飾られていた「修徳成業」の扁額で、今でも職員玄関壁面に掲示しています。この扁額は、明治の初め本校の前身である「修成学校」が伊予町円明寺東隣の地にできたころに作られ、講堂や玄関など学校の最も重要な場所に掲げられてきたそうです。また、「修成」という校名の語源を示す貴重な資料にもなっています。さらに、題字を書いた藤堂高猷(とうどうたかゆき)は、江戸時代最後の津藩主(11代)で、津駅の西方に位置する「偕楽公園」を造った人物でもあり、明治維新の際、知藩事を務めました。

この「修徳成業」つまり「善い行いをする性格や、人を感化する人格を身につけて、学問や技艺を成し遂げる」は本校の校訓であり、これまでに「学校教育目標」に設定してきたこともあります。

令和5年度は52名の1年生を迎え、全校児童数347名の子どもたちとともにスタートしました。本年度は、「自ら学び 共に高め合う『修成っ子』の育成」という学校教育目標のもと、「子どもたちが自ら考え、学び合う」過程を重視し、「主体的、対話的で、深い学び」となるような授業展開を実践するとともに、「自分の大切にし、仲間やまわりも大切にする子ども」の姿をめざして学級運営に取り組んでまいります。

令和5年6月2日には、保護者の皆様や地域の方々にご臨席賜り、子どもたちと一緒に創立150周年をお祝いする式典を挙行し、皆様と一緒に、本校の歴史と伝統を大切に思う集いにしたいと思っております。

保護者の皆さま、地域の皆さま、これまでと変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月

津市立修成小学校
校長 小林 まり子